

2 高等学校 国語科 問題用紙

(四枚のうち一)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

□ 次の文章を読んで、あとの問一〜六に答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(中村 明 「名文・名表現 考える力 読む力」による。)

2 高等学校 国語科 問題用紙

(四枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

問一 ①～⑥の語について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで、それぞれ書きなさい。

問二 A、B にあてはまる接続詞を、次のア～カからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア なぜなら イ ところが ウ それとも エ また オ だから カ ところで

問三 1 「ことば」で伝えようとしたその人間の在り方も同時に伝わってしまうとありますが、それはなぜですか。その理由を九十字以内で書きなさい。

問四 C にあてはまる最も適切な語を、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 基本的 イ 具体的 ウ 情緒的 エ 客観的

問五 2 文章でもまったく同じ問題なのだ」とありますが、筆者は囲碁・将棋と文章のどのような点が同じだと述べていますか。囲碁・将棋と文章についての筆者の捉え方を、それぞれ明らかにして書きなさい。

問六 3 書いているひとりの人間の世界が、読む者の心にひびくとき、名文のなかでその美を支えている目立たない「ひとつのことば」が名表現として輝くのだ」とあります。筆者(中村明)はこれに続く部分で、「川端康成の弔辞」を「名文」として取り上げています。あなたが「名表現」と考える部分を「名表現」として説明しますか。あとの「川端康成の弔辞」の中から、あなたが「名表現」と考える部分を取り上げ、それが「名表現」といえる理由について、次の条件1・2に従って書きなさい。なお、取り上げる表現は複数箇所でもよいこととします。

条件1 取り上げた表現が「名文のなかでその美を支えている」点について説明すること。

条件2 取り上げた表現の特徴とそこに表れる川端という「ひとりの人間の世界」とを関連付けること。

【川端康成の弔辞】(川端康成が盟友であった横光利一の死に際して述べた弔辞の一部。)

君に遺された僕のさびしさは君が知ってくれるであろう。君と最後に会った時、生死の境にたゆたうような君の目差の無限のなつかしさに、僕は生きて二度とほかでめぐりあえるであろうか。さびしさの分る年齢を迎えたころ、最もさびしい事は来るものとみえる。年来の友人の次々と去りゆくにつれて僕の生も消えてゆくのをどうとも出来ないとは、なんとこの事なのであるか。また今日、文学の真中の柱ともいうべき君を、この国の天寒く年暮るる波濤の中に仆す我等の傷手は大きい、ただもう知友の愛の集まりを柩とした君の靈に、雨過ぎて洗える如き山の姿を祈って、僕の弔辞とするほかはないであろうか。

横光君

僕は日本の山河を魂として君の後を生きてゆく。幸い君の遺族に後の憂えはない。

(川端 康成 「横光利一弔辞」による。)

2 高等学校 国語科 問題用紙

(四枚のうち三)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

三 次の文章A～Jを読んで、あとの問一～八に答えなさい。

A

むかし、惟喬（トヨタカ）の親王と申すみこおはしましけり。山崎のあなたに、水無瀬といふ所に、宮ありけり。年ごとの桜の花ざかりには、その宮へなむおはしまし。X。その時、右の馬の頭aなりける人を、常に率ておはしましけり。時世経て久しくbなりcにければ、その人の名忘れcにけり。狩はねむころdにもせで、酒のみ飲みつつ、やまと歌にかかれりけり。いま狩する交野eの渚の家、その院の桜、ことにおもしろし。その木のもとにおりて、枝を折りて、かざしにさして、かみ、なか、しも、みな歌よみけり。馬の頭なりける人のよめる。

ア 世の中にたえてさくらaのなかりせば春の心はのどけからまし
となむよみたりける。また人の歌、

イ 散ればこそいとど桜はめでたけれ憂き世になにか久しかるべき
とて、その木のもとには立ちてかへるに日暮になりぬ。

(「伊勢物語」による。)

B

「ものあはれは秋こそまされ」と人ごとにいふめれど、それもさるものにて、今一きは心もうきたつものは、春の気色にこそあめれ。鳥の声などもことの外に春めきて、のどやかなる日影に、櫛根（シノネ）の草萌えいつるころより、やや春ふかく霞みわたりて、花もやうやう気色だつほどこそあれ、折しも雨風うちつづきて、心あわたたく散り過ぎぬ。青葉になり行くまで、よろづにただ心をのみぞ悩ます。花橋は名にこそ負へれ、なほ梅の匂ひにぞ、いにしへの事も立ちかへり恋しう思ひ出でらる。山吹のきよけに、藤のおぼつかなきさましたる、すべて、思ひ捨てがたきこと多し。

(「徒然草」による。)

- C 残りなく散るぞめでたき桜花ありて世の中はての憂ければ
- D 花散らす風のやどりは誰か知る我にをしへよ行きてうらみむ
- E 春霞色のちくさに見えつるはたなびく山の花の影かも
- F 春雨の降るは涙かさくら花散るを惜しまぬ人しなれば
- G 霞立つ春の山辺は遠けれど吹きくる風は花の香ぞする
- H 待てといふに散らでしとまるものならば何を桜に思ひましまし

(「古今和歌集」による。)

I

惜二シム桜花一ヲ

宿昔二猶枯木

迎レヘテあしたヲ 一半紅ナリ

国香知レリ有ルヲ 異

凡樹見レル無キヲ 同シキコト

折ラントセバ欲ニシ妨レグ人ヲ 鎖一ナラント

含マントセバ応ニケン禁レズル鳥ヲ 籠一ヲ

此ノ花嫌ニヘバ早ク落ツルヲ

争イカテか奈カ賂マニヒセン 春風一ニ

(注) 宿昔 Ⅱ 昨夜

(「日本漢詩集」による。)

J

これも今は昔、田舎の児の比叡の山へ登りたりけるが、桜のめでたく咲きたりけるに、風のはげしく吹きけるを見て、この児さめざめと泣きけるを見て、僧のやはら寄りて、「4なごかうは泣かせ給ふぞ。この花の散るを惜しう覚えさせ給ふか。桜ははかなきものにて、かく程なくうつろひ候ふなり。されどもさのみぞ候ふ」と慰めければ、「桜の散らんはあながちにいかげせん、苦しからず。我が父（ちち）の作りたる麦の花の散りて実の入らざらん思ふがわびしき」といひて、さくりあげて、よよと泣きければ、5うたてしやな。

(「宇治拾遺物語」による。)

2 高等学校 国語科 問題用紙

(四枚のうち四)

受験番号	
氏名	

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

問一 a なり、b なり、c に、d について、それぞれの文法的説明を書きなさい。

問二 X にあてはまる過去の助動詞「けり」について、適切な活用形にして書きなさい。

問三 文章Aにある和歌ア・イの大意は次のとおりです。あとの(1)・(2)に答えなさい。

アの大意Ⅱ世の中に桜がまったくなかつたならば、惜しい花が散りはせぬかと心を悩ませることもなく、春をめぐる人の心はのどかなことでしょう。
イの大意Ⅱ散るからこそいつそ桜はすばらしいのです。つらいことの多いこの世の中に、何が永遠なものであろうか。永遠なものなどありません。

(1) 文章Bは花を觀賞する態度として、和歌ア・イのどちらの觀賞態度に近い態度が表現されていますか。その記号を書きなさい。また、その理由を文章Bの表現を踏まえて、七十字以内で書きなさい。

(2) 和歌C・Dの中から、和歌ア・イに表現された觀賞態度に近い態度が表現されているものを、それぞれ二つずつ選び、その記号を書きなさい。また、選んだ和歌の大意をそれぞれ書きなさい。

問四 1 花橘は名にこそ負へれ、⁴ などかうは泣かせ給ふぞの口語訳を、それぞれ書きなさい。

問五 漢詩Iの詩の形式を漢字で書きなさい。

問六 2 猶 枯 木 の書き下し文を書きなさい。

問七 3 争 奈カ 賂ニ^{ヒセン} 春 風ニ^ニ の口語訳を、「賂」の目的を明らかにして三十五字以内で書きなさい。

問八 5 うたてしやなとありますが、書き手はどのようなことに対して「うたてし」と評したのですか。八十字以内で書きなさい。

三 次の問一・二に答えなさい。

問一 平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 では、共通必修科目が二つ設けられています。科目名をそれぞれ書きなさい。また、それぞれの科目の内容の取扱いにおいて、「思考力、判断力、表現力等」の「読むこと」の教材を取り上げる際の留意事項を書きなさい。

問二 「国語総合」の「書くこと」の領域において、出典の明示の仕方や引用の仕方を学習したのち、相手や目的に応じて題材を選び、意見文を書く授業を行うこととします。単元を構想し、この単元における目標を書きなさい。また、目標を実現するための具体的な学習活動及び評価規準・評価方法を書きなさい。

高等学校 国語科 解答用紙

(四枚のうち四)

受験番号
氏名

☐				問題番号		
問二			問一			
次	時	具体的な学習活動	具体的な評価規準・評価方法	単元の目標	科目名	科目名
					留意事項	留意事項
※必要に応じて線を引いてもよい。						

解答欄